

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	後藤 卓	学校名	習志野市立第六中学校
実施学年	第1学年	教科	社会
单元名	中学1年生 ヨーロッパ州		

《学びを深めたいポイント》

・ヨーロッパ統合が抱える課題について、様々な視点から考察し、自分なりの考えを持つことができる。

《SKYMENU 活用のポイント》

- ・発表ノートのグループワーク機能を用いて各自の意見をグループ内で簡単に共有化をはかる。
- ・自分のグループ内だけでなく、他のグループからの意見を踏まえて、自分自身のヨーロッパ統合に対する意思表示をポジショニングにて他者と視覚的に比較して捉えることができる。

《実践内容》

過程	学習活動 ○：発問、指示 ・：生徒の反応	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	〔前時までの学習の確認〕 ○クロアチア（EU加盟）とイギリス（EU離脱）の写真から、それぞれの国の人々の様子の違いはなぜ生じるか。 〔学習課題を確認する〕		
学習課題：ヨーロッパでは、統合によってどのような課題が見られるのか？			
	○自分自身は加盟・離脱のどちらに賛成か。	・ポジショニング機能を用いて全体の意見を共有化する。	
展開	○グループを作り、その是非について意見交換をする。 ○グループ内で加盟・離脱の担当に分かれ、その後、新たに加盟組・離脱組のグループを作り意見交換を行う。 ○元のグループに戻り、再度意見交換を行う。	・発表ノートを用いてグループ内での意見をまとめておく。 ・自分の担当と同じ立場の人の意見を踏まえ、発表ノートに追記していく。	・タブレットがない生徒はプリントを配布する。 ・取り組み状況を一覧で確認し、支援が必要な生徒及びグループには助言をする。
	○最終的にグループとしては加盟・離脱のどちらに賛成かを決定する。 ○全体で加盟・離脱の是非について意見確認及び意見の集約を行う。	○グループごとに発表ノートを用いて簡潔に発表してい	

		く。	
ま と め	○自分ならばE U加盟・離脱のどちらに賛成かを再確認する。	・ポジショニング機能を用いて授業冒頭との全体の意見の比較を行う。	

《実践を振り返って》

- ・操作全般については、生徒も慣れてきているため、特に問題なく行っていた。
- 一方で、授業当日にタブレットを忘れてしまったり、異常により操作不可の状態であったりした生徒に対してのフォローは別で行う必要があるのは課題だと感じた（授業時には別の指示を与える必要が生じたため）。
- ・グループ内での共有や他のグループで出てきた意見を参考にして、自分自身の考えの方向性の決定に活用することができていた。